

特集にあたって

今、地域は過疎化、高齢化などの厳しい局面の中、地域それぞれに活性化のための打開策を模索しているところです。その中でポイントのひとつが、地域の資源を見直し魅力あるまちづくりに活用していくことです。今回は「近代化遺産」と「里山資本主義」をテーマに地域の資源を考えることといたしました。

1つ目の「近代化遺産」は、地域の大切な資源であるとの認識のもと、過去2度にわたり調査事業を実施するとともに、その後出版物を通じて、地域の皆さんに情報発信を行ってきました。さらに昨年12月には「近代化遺産を活用した地域づくり」をテーマにトークサロンを開催し、産業考古学会会長・日本大学理工学部上席研究員の伊東孝氏に「近代化遺産と地域活性化」と題して講演いただいた後、調査に関わった先生方によるトークセッションを行いました。本書では講演録を掲載するとともに、今回新たに、県内外の活用事例を紹介し、「地域づくりとの関わり」について議論を深めました。

2つ目の「里山資本主義」は、地域資源を見直すことによる地域活性化策であり、元気な地域づくりを考えるうえで大きなヒントになります。2月に開催した政策研究セミナーで講演いただいた株式会社日本総合研究所調査部主席研究員 藻谷浩介氏の「里山資本主義で元気な地域づくり」の講演録を掲載しましたので、地域資源の宝庫として注目される里山、里海の持つ魅力と可能性について、理解を深めていただきたいと考えています。

今後、地域のみなさんが地域への「誇り」を呼び起こし、元気で活力ある地域づくりを進める上で役立てていただけることを願っています。

(公財) えひめ地域政策研究センター

所長(専務理事) 森 敏明